

街を彩る早咲き桜の絶景—河津桜まつり特集

温暖な気候の伊豆半島では、ひと足早く春の訪れを感じられるイベントが開催されます。今回は、そんな伊豆ならではの春を先取りできるイベントをご紹介します。

見どころや
地図などの
詳細はこちら



河津桜とは

河津桜は1955年頃に静岡県河津町内で偶然発見された早咲きの桜です。淡紅色の花が特徴で、オオシマザクラ系とカンヒザクラ系の自然交配種とされています。

例年は、2月初旬から3月初旬が開花時期ですが、満開の期間は約1週間から10日間のため、開花情報を直前までチェックしておくのがおすすめです。



河津桜

河津桜まつりとは

河津町で毎年2月上旬から約1か月間開催され、毎年約100万人が訪れる、ひと足早い春の訪れが感じられる桜の祭典です。

町内全体で約8,000本もの桜が咲きます。中でも河津川沿いの遊歩道は、約850本もの桜で彩られ、散策しながら春の息吹を間近に感じられます。

河津桜まつり期間中は、多くの露店や夜桜のライトアップなどのイベントがあり、様々な形でまつりを楽しむことができます。

✿ 期間 2月7日(土)～3月8日(日)

✿ 場所 河津町内各所



河津桜と菜の花

桜まつりの見どころ

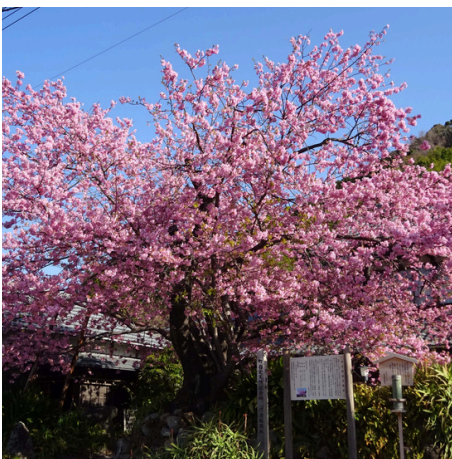
①河津桜原木

河津町田中の飯田勝美氏が1955年頃、河津川沿いで芽咲いているさくらの苗を偶然見つけ、庭先に植えたのが河津桜原木です。1966年1月、ようやく花が咲き始めました。当初、発見者の飯田氏の屋号から「小峰桜」と地元で呼ばれていました。

その後の調査で新種と判明し、河津町に原木があることから、1974年に「カワヅザクラ（河津桜）」と命名されました。

✿ 住所 静岡県賀茂郡河津町田中

✿ 時間 9時～17時(年中無休)



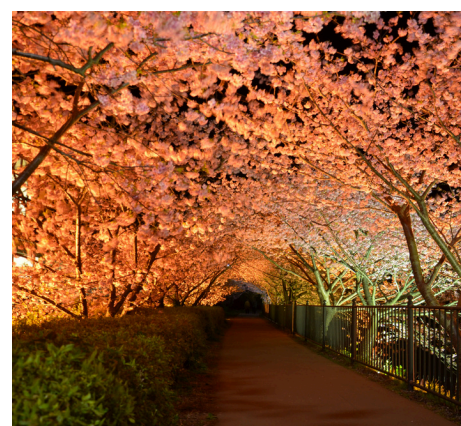
河津桜原木

②桜並木ライトアップ

河津駅前館橋より下流の桜並木と踊り子温泉会館裏の桜並木は、夜のライトアップを行います。昼とは異なる幻想的な景観が広がり、水面に映る光と桜がとても美しい人気スポットです。

✿ 期間 河津桜まつり期間中

✿ 時間 18時～21時



ライトアップ

③菜の花ロード

河津川沿い約4kmの桜並木のおよそ中間地点にある河津桜の濃いピンク色と菜の花のイエローのコントラストが美しい散策スポットです。周辺には、多くの露店や足湯もあるまつりのメイン会場です。

ふるさと納税でもらえるデジタル地域通貨「しず旅コイン」

～ 2026年1月9日からスタート～

詳細は
こちら



「しず旅コイン」とは

ふるさと納税の返礼品として、寄附額に応じて発行されるデジタル地域通貨です。専用サイトから、自治体(静岡市、伊豆市、下田市、南伊豆町、松崎町)を選んで寄附をすると、寄附額の30%分の「しず旅コイン」をその場で受け取ることができ、寄附した1か所の自治体だけでなく、3市2町の加盟店全てで利用できるのが特徴です。寄附後、すぐに受け取れるので、旅をしながら使うことができます。



宿泊、飲食、体験施設で利用可能

話題の一棟貸しの宿「日本色」(静岡市駿河区用宗)や、松崎海岸を一望する伊豆まっさき荘等の宿泊施設、2024年に伊豆市土肥にオープンしたテラッセオレンジトイ内にあるマジックアワーカフェPorto101やジャンボ

エビフライが人気のなすび総本店(静岡市清水区)等の飲食店、金のテーマパーク土肥金山や寝姿山山頂へつづく下田ロープウェイ、南伊豆町の下賀茂温泉銀の湯会館、静岡市と伊豆市土肥を結ぶ駿河湾フェリーへの乗船等、70施設以上で利用できます。



しず旅コインを使って静岡旅を楽しみませんか【1泊2日のオススメ】

1日目

東京から新幹線で静岡市へ。
3市2町のいずれかの自治体に5万円寄附し、1万5千円分の「しず旅コイン」をゲット。
入船鮪(静岡市)で2千円分利用(残り1万3千円)。
夜は、工芸ノ宿和楽に宿泊。

2日目

チェックアウト時に宿泊代で5千円分利用(残り8千円)。
駿河湾フェリーに乗船(2千円分利用)し伊豆市へ(残り6千円)。
土肥金山とテラッセオレンジトイで3千円分利用(残り3千円)。
松崎町、南伊豆町、下田市の加盟店で3千円分利用(残り0円)。
伊豆急下田駅から東京へ。

静岡県アンテナコーナー「おいしず」のオススメ

今月のオススメ商品は、「ふじのくに新商品セレクション2025」の金賞を受賞した「日下みかん ストレートジュース」(株式会社日下農園)です。

温州みかんの中でも貴重な「片山みかん」を主な原材料としています。

コク深く品のある甘さとすっきりとした後味が特徴です。

手で一つ一つ皮を剥いてみかん本来の味をギュッと詰め込みました。



おいしずの詳細



おいしず楽天市場店



JR秋葉原駅 徒歩2分 CHABARA内
「日本百貨店 しょくひんかん」
東京都千代田区神田練堀町8-2 (JR高架下)

編集後記

他県の方と話をすると富士山の話が出てありますが、残念ながら曇っていて見えなかったという話をよく聞きます。

私自身、東京事務所に勤務している中で、関係方々を静岡県に案内するツアーを何度か実施しましたが、残念ながら富士山が完全に晴れて見えていたことは1度もありませんでした。

普段何気ない時は、晴れているイメージですが、改めてここぞという時に見ようとすると意外と見れないものだと感じました。富士山が晴れて見える日は年に3割くらいという話も聞きますので、次に新幹線から富士山が見えたときは小さい幸運を感じたいと思います。



静岡県東京事務所
総括主査 鶴野恭行